

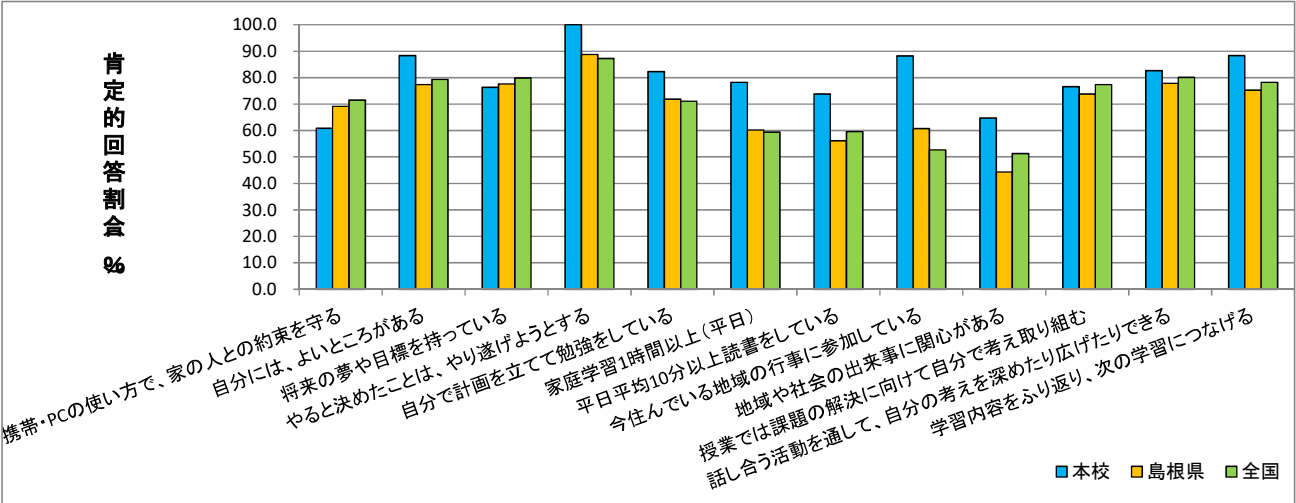
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○漢字は概ね身に付いている。 ○国語の勉強が好きで、読書する時間が比較的長い。 ●文章を読み、自分の考えをまとめたり、条件に合わせて書いたりするのが苦手な児童が多い。	・多様な文章を読んだり、自分の考えをまとめて書いたりする機会を増やす。 ・自分の立場や理由を明確にするなど、文章の書き方を指導する。
算数	○数と計算など基本的な問題の正答率が高い。 ●考察を要する問題の正答率が低い。問題を読み取る力が弱い。 ●算数の学習を苦手と感じている児童が多い。	・普段から応用的な問題に触れる機会を多く設け、問題を多面的にとらえられるようにする。 ・「わかる」「できる」経験がたくさんできるように、視覚的教材や具体物を活用し授業を工夫する。
理科	○知識としては理解している。実験や観察でどうなったかは分かる。 ●実験や観察の結果から分かることやなぜそうなるのかということ自分の言葉でまとめることが苦手。 ●思考を要する問題、記述式の問題になると、問題の意図が把握できないのではないかと。 ●エネルギーの領域(日光)が弱い。	・実物を通して、実験や観察をさせる。 ・予想を立てたり、結果から考察したりすることを一人一人が考える時間や場を授業の中で設定していく。 ・学習したことを授業の中だけでなく、普段の生活と結び付けて話題にしていく。

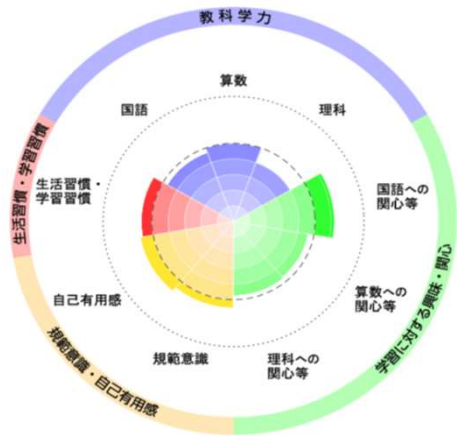
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○自己肯定感が高く、少ない集団の中でも一人一人が活躍しながら活動している。 ●コロナ前は地域の行事や授業で外部講師と関わるがあったと思うが、コロナ禍の3年間は関わる機会がグッと減り、校内だけで授業や遊びをしているイメージがあるのかもしれない。	・徐々にコロナ前の状況に戻りつつある。今まで行っていた行事が再開すると、調査結果「今住んでいる地域の行事に参加していますか」が高いので、積極的に参加し色々な大人と関わろうと思う。それによって「地域の方に教わった・遊んでもらった」という思いが高くなるように思う。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・メディアコントロールウィーク時以外の意識付けが必要である。学級で啓発のお便りや、保健室だより等で呼びかける。(視力の低下や健康について結び付けて分かりやすく意識できるようにする。)

【受検者数】

17 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。